



## 教授の呟き

### 第10回

# 名前は変わった、中身はどうだ

東京海洋大学教授 苦瀬博仁

#### ●●● 情報化時代の役割分担

最近、携帯電話を新しい機種に変更した。カメラ付きでメーカーも変えたため、扱い方に戸惑っている。マニュアルを読みこなす読解力も精神力もない。そこで携帯電話をフル活用している娘と息子に、操作方法を教えてもらっている。

職場のパソコンも、研究室（助手1名、大学院生5名、卒論生3名）の中で、最も古いタイプになってしまった。「パソコンを買い換えるときには、同じ機種を2台求め、1台はコンピューターに詳しい学生に預けること」という友人の忠告を、今回も守りたいと思う。実は、取り扱い方法やトラブルの処理に関して、学生に頼りきりなのである。

情報化時代は、経験を重ねた世代と吸収力に富んだ若い世代の間での、役割分担と助け合いのありがたみを実感させてくれる。

#### ●●● 卓球ダブルスにおける戦略

その昔の高校時代に、卓球のダブルスで2回ほど東京都代表になったことがある。取り立てて気が合ったわけではないが、2人ともシングルスではそれほど強くもなく、「代表になるにはダブルスしかない」と共に信じていたから、それなりに戦略を立てた。どうしたら互いの長所を引き出せるか、そのためにはどのような作戦が望ましく、どのような練

習が必要かなど、高校生なりに議論し知恵を絞った。もちろん、指導者にも恵まれた。

代表という共通の目標のために力を合わせるのだから、考えてみれば当然のことをしただけである。

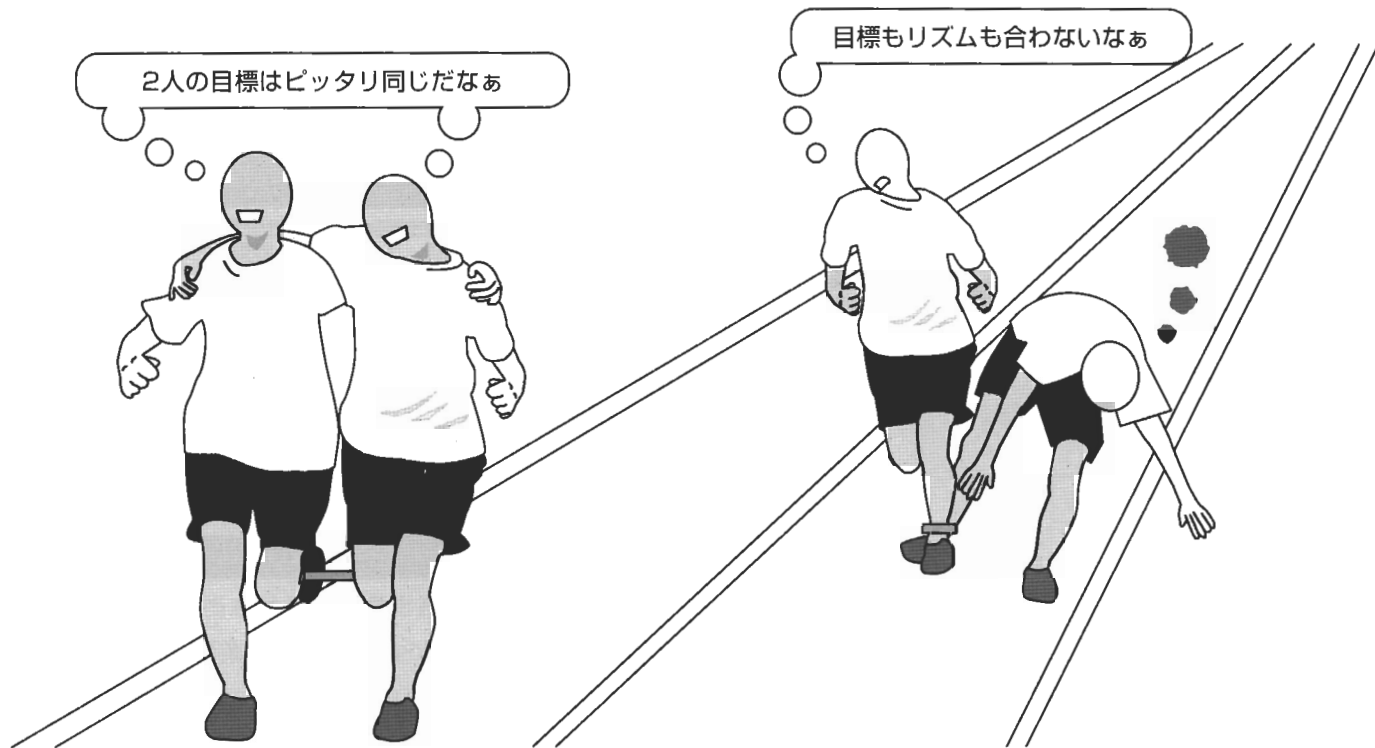
#### ●●● 合併・統合に必要な理念と目標

昨今、スケールメリットを求めて、合併や統合が盛んにおこなわれているようだ。銀行業界では統合・再編が繰り返され、自動車業界や航空業界などでも提携やアライアンスが進められている。公共機関では、省庁再編に続き各種団体や市町村の合併が話題になっている。成功例もあれば、破談になることもある。

また、効率化を目指して、物流の共同化や業務委託が進められている。同業者による共同輸送や共同配送もあれば、窓口納品による一括配送もある。代引き制度や納品代行などの業務委託も進んでいる。

スケールメリットを求める合併や統合であっても、効率化を求める共同化や業務委託であっても、実際に効果を得るまでには困難が伴うだろう。そして、困難を克服するための努力と工夫が必要な気がする。共通の理念や目標を持たなかったり、独り善がりの思惑があったり、当座のぎで本格的な改革を避けたり、過剰なライバル意識が表に出れば、二人三脚もつまづいてしまうかもしれない。

日本経済新聞の「女は変わった、



男はどうだ」というキャッチコピーになれば、合併や統合によって「名前は変わった、中身はどうだ」ということになる。

### ●●● 名前は変わった、中身は？

手前勝手な話で恐縮だが、国立大学の改革の一環として、2003年10月1日に旧東京商船大学と旧東京水産大学が統合し、東京海洋大学となった。

筆者の所属する流通情報工学科は海洋工学部に属し、旧来からの流通情報工学課程を引き継ぐとともに、商学・経営学分野の講座を充実させている。旧東京商船大学のイメージが強いかもしれないが、本学科には長期の船舶実習はない。海外では海洋や船員養成の大学がロジスティク

スを展開している例も多く、本学科もその部類に入ることになる。


ロジスティクスの重要性が一般にも知られるようになり、おかげさまで就職先にも恵まれているせいか、入学志願者は漸増傾向にある。博士課程（工学）もあり、社会人学生も増えている。しかし、少子高齢化時代に向けて努力を怠ることはできない。(1)

「名前は変わったが、中身はどうも」などと言われないように、工学からロジスティクスを探求する学科としての地位を、固めていきたいと思っている。

この場を借りて、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げたい。☺

(1) 苦瀬博仁：「大学におけるロジスティクス教育—東京商船大学の流通情報工学課程の現状から—」、流通設計21、2002年3月号

Profile



東京海洋大学 海洋工学部  
流通情報工学科 教授  
**苦瀬博仁**



(くせ ひろひと) 1951年東京生まれ。73年早稲田大学理工学部土木工学科卒業。75年、同大学大学院修士課程修了。81年、同大学大学院博士課程修了後、日本国土開発に入社。86年から東京商船大学助教授、94年より同大学教授。2003年大学統合により、東京海洋大学教授。94年から95年の1年間、フィリピン大学客員教授を務める。主な著書に「付加価値創造のロジスティクス」(税務経理協会)、「都市交通—都市交通計画・都市物流計画」(丸善)、「マニラ・エンジョイ・トラブル」(論創社)、「明日の都市交通政策」(成文堂)